

楽チェック・楽見積のデータベースファイル の更新

概要

ホスト・ゲスト間で物件の新規作成を行っていると、「点検実施日」や備考等の編集したはずのデータベース画面が、次回起動時には読み込まれないという問題が発生することがあります。（編集まえの状態に戻ってしまう。）

以下その対応方法です。

仕組み

楽チェック・楽見積はホスト・ゲスト間でdatabase.xlsを次のように共有しています。

- 【1】 ホストまたはゲストで新規作成時に、物件名を新たに書き込まれた自分のdatabase.xlsをホストのフォルダにdatabase_bak.xlsとして上書きします。
- 【2】 ホストまたはゲストが起動時にホストのdatabase_bak.xlsをみて、database.xlsとして読み込みます。
- 【3】 上記、読込と書込は次のコマンドでも実行できます。
読込：最新ファイルの読込
書込：最新ファイルの書込

運用方法

【手順1】 就業時間後など、誰も使用していない状態で、ホストまたはゲストで「最新ファイルの読込」で最新のものを読込む。

【手順2】 データベースの編集後に楽チェックであれば「新規物件」、楽見積であれば、新たに「請求書」の作成を実行する。

【手順3】 「最新ファイルの書込」で更新する。

【手順4】 一度、楽チェック、楽見積を終了して、再度起動して、データベースが更新されたことを確認する。

【手順5】 手順2で作成したのを削除し、「最新ファイルの書込」する。以後、ホストまたはゲストが起動するとき、このデータベースが読込まれます。

以上